



被災地の妊産婦さんとみなさんをつなぐ  
**東北こそだてレター (被災地の今...)**

2014/02/18 配信 vol.18

～「東京里帰りプロジェクト」で支援した方の近況から考える、震災から3年後の影響～

◆ 支援実績 (2014/1/31 現在)

<支援母子数>

- ・2014年1月計 615組
- ・プロジェクト開始より累計 11,005組 (2012/7～2014/01)

<活動場所>

- ・岩手 (大船渡、陸前高田、花巻、釜石、大槌、遠野、宮古、久慈)
- ・宮城 (石巻、東松島、女川、気仙沼、亶理、名取、仙台)
- ・福島 (いわき、相馬、南相馬)
- ・福島 (伊達、二本松、須賀川、白河、郡山、猪苗代町)
- ・新潟 (長岡)
- ・埼玉 (川越)・神奈川 (横浜)・東京 (中野)

<活動内容>

育児相談会／茶話会／ベビーマッサージ／ベビ体操／  
ママのリフレッシュ体操／親子ピクス／仮設巡回訪問

みなさま、こんにちは。  
一般社団法人ジェスペールです。

2月8日は東京23区に13年ぶりの大雪警報が出た日でした。また、14日から15日にかけても雪が降りましたね、皆様大丈夫でしたでしょうか。吹雪く様子を見てみると、ここが東京だとは信じられなくなる気持ちになりました。

考えてみれば東北の方々はこの雪は当たり前なんですよ。東北の皆さんの我慢強さの理由がわかる気がしました。

さて、今回の記事トップは、大雪の中で皆さんがお困りになっているのが申し訳なくなってしまうくらい、ジェスペールにとっては嬉しいニュースです。  
「まんまる」車購入プロジェクトについてのお礼ですが、

被災地のことを想ってくださる方がまだこんなにたくさんいる、ということが、何よりも嬉しいことでした。

また、被災地の今をお知らせする記事では、ジェスペールの前身である「東京里帰りプロジェクト」で支援した方からのお便りをご紹介します。

たいへんな震災後、「東京里帰りプロジェクト」を利用したことが、スムーズな子育てにつながっていることを感じてくださる一方、震災の影響を今も受けているご様子も伺えました。

そろそろ震災から3年経ちますが、震災はまだ終わっていないことを感じさせられます。

被災地での「これから」と「今」、そして「未来」。どうぞ最後まで、ご覧ください。

◆ 「東京里帰りプロジェクト」で支援した方からのお便り

「東北こそだてプロジェクト」の前身「東京里帰りプロジェクト」では、震災直後から、東京に避難してきた妊産婦さんを支援しました。

東京での住まい、出産施設の手配から産後のお世話、生活が落ち着くまでの補助や手続きなど。当時のスタッフは、家族のことのように親身に対応しました。

その時にお世話した方からは、3年経った今でもご連絡をいただきます。

そして身内の手が借りられない方には、ジェスペールから支援もしています。

Nさんもその一人です。

\*\*\*\*\*



Nさんは、ご主人のご実家のいわき市に移り住んで5年経った頃、震災にあいました。当時は妊娠9か月。原発事故の後、小さな子のいる親戚が避難を始めたことで、Nさんも東京に避難し、プロジェクトの支援を受けました。その後も東京に住み、昨年8月には3人目のお子さんも出産しました。

『産後はジェスペールの被災者支援で、ドゥーラ協会から派遣された産後ドゥーラさんが家に来てくれて、母乳に良いとされる食事を作ってくれました。冷蔵庫に何も無い時は、上の子どもも連れてお買い物にも行き、長男の運動会のお弁当まで作ってくれました。』

マッサージってほどのことじゃないんだけどね、と言って、首から肩・腰にかけてマッサージしてくれたことが、今一番の思い出となっています。すごい力になりました。

美容室や歯医者とか今のうちに行きたい所があればお手伝いします、とお心遣いを頂き、美容室にも行きました。その間、娘をバギーに乗せてお散歩してくれて、子どもと離れた時間で、とてもしフレッシュすることができました。4人の男の子を育て上げた大先輩なので、育児の助言もためになりました。

人の力を借りないと子どもを可愛いと思えないなんて、最低な親かもしれませんが、ゆとりができて、子ども達を可愛いと思えるようになりました。ゆとりを持ちたいと思って簡単なことではありません。本当に大切なことに気づかせて頂きました。』

産後は誰かの手助けがないと、母体にもお子さんにも影響が出て、育児が辛いものになってしまいます。ジェスペールでは、東京に避難されている母子の支援も継続して行っています。

\*\*\*\*\*

ここで、もうお一人、Tさんからのおたよりを抜粋してご紹介します。

Nさん同様、震災後に福島県川俣町から東京に避難し、プロジェクトの支援を受け、無事出産されました。その後も東京にお住まいです。

『Tさんよりのおたより』

皆様お元気ですか？

息子は、昨年秋から保育ママに通い始めました。

喘息ですが、いつも笑顔で上機嫌のありがたい息子です。

去年は、福島の子ども達に次々と甲状腺ガンが出て大変ショックでした。自分の住んでいた市町村や福島の実家も、甲状腺ガンの子どもが多発し、私自身も震災のPTSDや放射能の恐怖で、とうとう神経性膀胱炎になって体をこわしてしまいました…。

私も被曝しているので安心は出来ません。

私の周りでも、健康被害や避難の長期化で、ストレスから病気になる方の話を聞きます。また福島から避難したい妊産婦、小さい子どもの親達は沢山いますが、さまざまな支援と財源がなければ出来ないのも、諦めるしかないという雰囲気です。皆、心の中では憤りや憎しみ、恐怖や不安を持ちながら、黙らされているのです。それぞれ生活するだけで精一杯です。

オリンピックに沸く東京と、放射能汚染地域に仕方なく暮らし、子どもが病気になるのを心配しているのでは、まさに天国と地獄です。

私は、昨年秋から知り合いの被災者支援NPOの方に声をかけられて、母子避難の体験談をお話しています。

里帰りプロジェクトの支援のノウハウや体験も、これから福島で妊娠出産する方達に役だててほしい。現状の政策のままでは、常に新しい命の誕生が危険と隣あわせだ、ということを発信してほしいと思います。

\*\*\*\*\*

震災からもうすぐ3年。

被災地の復興も原発問題の対応も、ほとんど何も変わっていません。

問題ばかりが浮上し、何ら解決策も示されず、被害にあった方達だけが取り残され、つらい思いを抱えた方も少なくありません。ジェスペールでは、被害にあった方の生の声をお伝えることも、大切な役目と考えています。

出産が大変なことは  
知ってたけど、  
出産後が大変なことは  
誰も教えてくれなかった

odoula



この震災では、被害が大きく深いものであるがゆえに、さまざまな価値観や考え方も生まれました。 私達は、その一人一人の考えや意思を尊重し、個々に合った形で、できる限りのサポートをしたいと考えています。 ジェスペールでは、お子さんを育てる母親に寄り添って、これからも活動を続けていきます。

◆ 被災地で助産師が育児支援を継続するための車を購入しよう！ - 「まんまる」車購入プロジェクトご協力をお願い -  
<https://readyfor.jp/projects/tohokumama>

ジェスペールが支援している団体「まんまる」の活動継続のための車購入プロジェクト（「READYFOR？」で実施）が目標金額を達成しました！

「まんまる」の活動継続は、岩手県のママ達が安心して子育てできる環境を整備していくためものです。

ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございます。  
当プロジェクトに関わったメンバー一同、心より感謝申し上げます。  
皆様からいただいた温かいお気持ちを最大限活かすべく、今後も岩手での被災地支援に励んでまいります。

思い起こせば、当プロジェクト開始時は、「皆さんが共感してくださるだろうか」という不安を持ちつつのスタートでした。

しかし、開始直後から寄せられた寄付と皆様の温かい応援コメントに「やってよかった！」と心だけでなく全身が温かくなったほど感激したのを覚えています。

プロジェクト終了は3月28日で、まだまだご支援を募集中です。

購入を予定している車は200万円以上かかるものであるため、寄付していただければそれだけまんまるの自己負担分が減ります。

引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。  
このたびのご支援、重ねてお礼申し上げます。

また、このプロジェクトが新聞に取り上げられました！

2/13 の読売新聞朝刊 家庭面に記事が掲載されました。読売東京本社管内の“北海道から中部地域”発行分限定ですが、多くの方にプロジェクトを知っていただくことができました。  
読売新聞と記事をご覧くださいました方にお礼申し上げます。



◆ プロジェクト応援のお願い

ジェスペールの「東北こそだてプロジェクト」は、被災地の母子を支援する助産師の活動を支援しています。

皆様からいただいた温かいご支援は活動の原動力となっています。

被災地の母子を今後も継続してサポートしていくため、妊産婦支援に関するお志を同じくするお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひ下記サイトをご紹介ください。

<http://tohokumama.org/donation/>

また、皆様からの励ましのお声も、現地の助産師や被災地で子育て中のお母さん、ジェスペールメンバーの力になります。ご寄付いただく際に励ましのお言葉を添えていただいたり、当メールマガジンへのご感想などをお寄せください。



発行者： 一般社団法人ジェスペール

公式ホームページ： <http://tohokumama.org/>

Twitter: <https://twitter.com/tohokumama>

お問い合わせ先： [info@tohokumama.org](mailto:info@tohokumama.org)

Facebook: <http://www.facebook.com/tohokumama>